

情報氾濫 新聞活用を

神戸で全国大会開幕



教育現場で新聞を活用

する「NIE（教育に新聞を）」の実践報告をする第30回NIE全国大会が31日、神戸市で2日間の日程で始まった。スローガンは「時代を読み解き、いのちを守るNIE」。日本新聞協会の中村史郎会長は開会式で「将来を担う子どもたちには情報氾濫の時代に情報リテラシーを高めてもらう必要がある、新聞の活用はうってつけだ」と強調した。

中区の広島国際会議場を会場に開かれる。主管する中国新聞社の岡島鉄也社長があいさつ。ニュース離れが加速する現状を踏まえて掲げる「ニュースとであう 社会とつながる」『自分』を育てるNIE」のスローガンを紹介。「真偽不明の情報があふれる社会で、真実を見極め、自分で考え、

しっかり自分の意見を持つ、確固たる自分を育ててほしい。NIEがそれを支える場となることを目指す」と述べた。

会場には、被爆80年の連載「ヒロシマ ドキュメント」などを紹介する中国新聞社などのブースも並んだ。

次回の第31回大会は来年7月30、31日に広島市